

香川ニュース

第10号

発行所
香川自治会
会報委員

東急の宅造計画 香川の環境保持に不安

市長に確認を要請

近年、都市開発事業の進展に伴って一部の悪質宅地造成事業者による自然環境の破壊や付近住民の生活環境を軽視した工事の進め方で業者と住民の間に大小さまざまなトラブルが各地で発生していることは衆知のとおりである。

この香川でも先年東急不動産株式が隣接甘沼地区に跨って買収した約一四ヘクタールの用地の宅地造成工事が近く、始められようとしている。この造成工事については同地域の、排水、交通、教育施設



設などの各面で香川地域の環境保全に大きな影響を及ぼすので、市、東急不動産三者の間で造成工事の実施に先立って地元と十分に事前協議を行う取決めを行って、住民の間にはこの実施計画に不安の点が多しとして業者並びに市の姿勢に対し不信の声が高まっている。

そこで自治会、生産組合、香小PTAなど関係団体などが協議の結果、住民の不安を解消し香川将来の発展に禍根を残さぬためにこの

際市側の十分な説明と将来の保証を得る必要があるとして三者の連名で二月十六日に市長に対し次の要点について確認を求める文書を出した。

確認を求めた事項

- 一、四三年二月一日 用地買収の際香川自治会と市の間で協議したコースを一時的に白紙に戻した理由
- 二、昨年九月定例会で市長に対し、大団地の造成は近接部路の各種施設に影響が大きいので造成に先立って地元を協議に参加させるべきであるとして望んだが市長はこれを履行せず事後承認の方法をとっているのは議会の軽視、住民無視である。その理由
- 三、市は、かつて小出川に汚水を流入することは下流約一〇〇ヘクタールに及ぶ左岸水利区域を汚染するので、すべて千の川に放流するよう規制してゆくこと約束したが(四三年一月)その基本方針を変えた根拠と理由
- 四、御所見及び寒川地区の畜産公害、岡田の殖産住宅地、大曲の山武ハネウエル、種豚センターなどが上流にでき、また近くできるので小出川は当然汚染度が増す。茅ヶ崎だけが頭張ってもムダだという考えが出てきているがそれで沿線に農地をもつ耕作者は納得したのか、どんな説得をしたか
- 五、小出川が汚染すれば片瀬海岸への境川のように大腸菌騒ぎが起るのは必至と思うがこれについて問題はなにか
- 六、自治会よりも寧ろ関係の深い生産者団体の組合員になぜ東急団地の排水計画を知らせなかったのか。又東急側との協議成立後に事後承諾を求める考えで作業を進めているのか
- 七、東急側は公団鶴が台団地への汚水排出が公団との間に協議不調に終わったと云っている。その後市の指導で、昭和五十三年以降とされる下水道計画に基づいて排水計画をたてたといっている。これは事実か
- A、今後七年間も公共下水道がなく、水田が汚染され減収を来すのは必至と思われるがその

の減収に對しどういふ補償がされるのか

B、東急側は公団(鶴が台)側へ放流できないことになったという報告を市に行ったか。報告したならばこのあとどういふ協議をしたか

八、香川の東急排水計画線(東地区)に東急の配電盤が仮設されているのを二月十二日確認している。これは二月一日、市の関係三課長らが来香の際「排水計画は確定していない、今後協議の中で決めたい」と約しなから決定してしまつたように見える。これは住民に対する背信である。東急側と行なつた協議内容を示されたか

九、集水面積六一ヘクタールに対し、上流一八米×一八米のボックス型暗渠、下流二一米×二一米の開渠の計画とこのことであるが将来不測の大洪水があった場合、香川区域住家と耕地への影響はないか。その根拠を示されたい。万一この設計基準で被害が発生したときの政治責任はどうなるのか

一〇、排水路の増設を要請

甘沼団地の南側に、赤羽根一甘沼一香川小学校北側を通り、地産団地方向に至る排水路がある。この排水量はかなりの量で洪水時には五日乃至七日の洪水(通称入尾地区)を記録している。このコースを整備しないままの排水路をそのままにすることは、このコースを改修し併せて農業用水の確保を配慮されたい。

一一、香川小学校の排水施設を香小のトイレ浄化槽及び三校分の給食排水の流末は当該地先より用水路と水田に流入している香小開設以来専用排水路の急激な増大を要望してきた。市長は団地の造成時に整備すると約束しているのに東急の造成と同時に設置されたい。

一二、北の中通排水路は現況では海床の掘り下げ、国鉄ガレットの改良(湾曲部分の改良、民間施工護岸の補強(坂田忠蔵氏の所有地区)など問題が残っている。この施工区分(東急・市)と施工方法、同時期を説明されたい。

おしらせ

二月二十日、一人のご老人が突然拙宅を訪問くださって「ことし七十七才を頂きました。同封一千元。貧者の一灯お聴しいが香川の句と共に寄せいただきまして必ず匿名でとらつたのお意を尊重し、ご厚意の程は取りあえず自治会会計の方にお伝えすると共に紙上報告をかねてお礼申し上げます。この上ともご健康を祈ります。

有難や喜寿授りて雪月花
東山

訃報

香川(間) 九八三番地
菅沢 ユキ様
一月二十九日 逝去

香川(原) 二七二番地
久保田 豊次様夫人
富美様
二月二日 逝去

謹んでお悔み申しあげます。

香川に遺る民俗資料

三橋一松氏邸

香川二二八番地(北、三組)三橋一松氏宅が新築のため取りこわされることになったが、同家の歴史によるとこの建物は文政九年(一四五年前)、当主六代前に建てられたもの(当ニューズの第五号でご紹介したこともある)文政八年三橋家の先祖が当時香川地区の友人たち十一人と伊勢詣りをして折廻をこめて帰られたその翌年建築された。由緒ある建物である。この建物は、典型的な農家造りで建面積は約百六十五平方メートルあり、これに当時の換き臼、車付長持かまどなども昔のまま保存されているとのこと。

古いものがどんだん姿を消していく当世であるが、このように我々の遠い祖先から伝わる貴重な文化遺産(民俗資料)をなんとか国や地方自治体の手で必要な補修を加えて復元して後世代まで保存することはできない。

カネボウ・レプロン・マックスファクター・ヘレナルピンスタイン

おしゃれの店 **三カ三**

茅ヶ崎市 茅ヶ崎駅北口 丸岡ビル一階 (82)2431
横浜店 横浜駅ビル二階・本店 横浜西口ダイヤモンド地下街

明るく生れかわる 香川駅周辺地区

住民の長い間の要望が実って駅周辺の整備工事が既に二月上旬から浅岡建設機の手で始まり三月中に完成する。駅舎だけは残念ながら今の儘だが、曲った道路は本格的な直線舗装道路になり交通安全上の施設も設備され公衆トイレも新しくなる。これまで遠い大正時代の半世紀の間地域住民に馴染まれた風景は間もなく姿を消し明るく面目を一新しよう。

そしてこの地区の市街地化を一段と促進させることになるだろう。



香川駅と周辺展望 2.22 火の見ヤグラ上から

東急団地造成で打合せ

去る四十三年に東急不動産が香川、甘沼両地区に跨って買収した住宅団地の用地(約一四ヘクタール)について、同社はこの造成計画実施に関する関係方面との了解を得るため去る二月一日に香川打合会がもたれた。これには、東急側 同社田園都市部 加藤技師ら五名、市側 池田企画課長、数田開発課長、加藤下水道課長ら三名、地元側 亀井会長、四副会長、地主代表 熊沢勝司氏ら六名、東急側の申し入れ住宅造りのための客土搬入コースとして小出地区より香川地区に入り用地に搬入したいので了解してほしい。これに対し地元としては工事の性質にかんがみ、交通量の急増、交通安全などの点で大いに懸念されるのでこの経路は拒否することとし、これに代って人家の少ないことかつ、交通量の比較的少ないコースとして、下寺尾の白井商店―三益製作所―東急の山の土手に新設運搬路を作り―埋立地へ搬入するコースをとることに指定して当初の申し出を断った。

(2)東急側の説明による造成計画スケジュール
二月下旬、市との開発協議
三月中旬に開発許可の申請
八月中に農地転用の許可を得て直ちに造成工事に入る
四十七年の九月十月頃には第一期入居まで漕ぎつけたい。

(3)地元からの要望事項
東急は造成地区に集中処理の汚水浄化槽を作り、これを中通地内用水排水路を通じ小出川に放流するとの説明だった。そこでこの排水の浄化を確約させたが、東急側は高田団地の施設をみるなど納得のゆく説明をする。

なお、この排水は市の下水道計画の排水区六十一ヘクタールの中にできるものでその集水量に見合った排水管渠を新に設置することと上流は一・八M×一・八Mのボックス、下流は開渠で二・一M×二・一Mを計画しており、沿道の香川住民も(香川世帯の約三分の一程度)共用できることになる。但し、宅地化による排除量の急増と管渠の能力(溢水の懸念)に疑点があるとの意見もだが、結局今後市と東急との事前協議に当たっては、右の排水問題、連絡道路問題、教育施設(学校教室)などの各面を、東急の造成が単一企業のプランとしないで、あくまで市の都市計画の一環として捉え団地と付近住民との調和を重視するよう配慮すべきであると強く要望した。

生活の知恵

◆アイデアのある入学祝
すばらしいアイデアの入学祝は

随想

人生の邂逅

埋金生

この頃ますます複雑化してきた人間社会の中で私は自分自身の存在をふと考える時がある。または一般的な個人を含めてでもある。人と人の繋(つながり)り、それは必然性と偶然性の糸にあやつられていくようにもあつて、才能や資質の優れた持ち主であつても、理解のある指導者や賛同者を持たなければ埋れる時もある。この人と人との出会いのうな、いわば縁(えにし)というか、運とでもいうか、本人の努力や意志には全く関係なくすれ違ふ時もある。もう一步、深く考えよとの邂逅(かいこう)は直感的に本能的に人間関係を求める本人の意志と熱意やまごころのようなものであろう。人を得ることが一見偶然のよう

ないものかと、考えをめぐらす季節になった。高校、大学の入学祝に共同で「旅のプレゼント」などどうだろう。周遊券なら本人のあいた日程に合わせる。家族の場合には一緒にプランを練る時から、既に目が始まっている楽しさだ。

◆目の衛生
春先は目やにが出たり、目がしょぼしょぼしたり、目の病気が多くなる。ほこりによるピルルスが原因の場合が多いので、外出から帰ったらうがいをするように、清潔な水を洗面器に汲んで、その中に目をパチパチするなど、目を洗うことを心がけよう。

◆カラチョークの伝言板
台所の黒板のチョークをカラチにしてみよう。たとえば、白は日常の野菜などの買物、黄は電話や来客のことづけ、青はクリーニンクの心覚え、とくに重大なことや急ぐものには赤チョークでマルなど。色別だから、パッと見てわかりやすく、黒板活用の巾も広くなる。

◆漬けものの効用
二月から三月にかけて生野菜が少なくなる時だが、生野菜にくらべてまさるとも劣らない漬けものよさを見直そう。ビタミンA・B・Cなど各種ビタミン類がたく

にもあるが他動的なものでない意志を伴ってそこから何かを生みだす力が生まれるであろう。

壮年期までの長い外地生活―終戦引揚げ―官界再就職と私生活の波乱の生活の中でたくさんの子供もそれぞれ成長した現在、曲がりなりにもなんとか好きなことをしていかけるのは大ぜいの人の力にあずかっている。日本人の古い文化から、現代のあらゆる人々から、それぞ直接、間接的にいろいろのものを通して私の今があると思われる。

過去を振りかえると多様な要素から成り立っているとすれば、もしあの時代、あの人に会ってないければと思う時もある。直接的な対人関係、今日の複雑な情報時代

さん含まれてい。

◆光をもとめる花
花屋さんの店には早くも春が溢れている。フリージャ、ラン、チューリップ、ユキヤナギ、キンセンカ……水切りして、しっかり水もあがって元気な花の茎が翌日は妙に曲っているのを見受けることがある。明るい方へ明ける方へと、光を求めて顔を向けている花の姿に、生きていくもの思いを深くさせられる。無造作にザックリとつっこんだ花は、花瓶のままクルリと向きをかえるだけでよく、きちんとつけこんだ時は、毎日いけかえた方がよいだろう。

◆鏡をみがく
風は冷たくても晴れた日の日光のぐあいは、さすがに春。家の中の汚れがよく目につく明るさである。ガラス磨きもしたいけれど、きょうはその暇もないし、と思った時二分か三分で鏡の磨き磨いてはどうか? 晴々とした気持ちで化粧ができる。

アルコールをガーゼにしみつけて隅々まで拭き清め、あとをティッシュペーパーで磨きあげておくだけで結構、暮しの中に一か所でも輝く場所をつくる心がけは大切。

お買物は香川商興会加盟店へ(お買上げ100円毎にサービス券1枚進呈)

高木薬局	香川クリーニング	中華一番	よしみや	魚賢	宮代肉店	大野屋菓子店	坪田輪機	香川電機	熊沢屋酒	鈴木薬局	みやしろ商店	シヨコーストア	八城商店	ミヤマ洋品店	高橋牛乳店	丸徳商店	川口屋支店	内田履物店	三河屋菓子店	金子薬局	小坪屋米店	イサミヤ酒店	山口屋食品店	田中文具店	板倉金物店	カバヤ寝具店	香川屋菓子店	西野酒店	カンナ糸店	屋島酒店	香川プロパン
------	----------	------	------	----	------	--------	------	------	------	------	--------	---------	------	--------	-------	------	-------	-------	--------	------	-------	--------	--------	-------	-------	--------	--------	------	-------	------	--------

香川の今昔

亀井勇次郎氏は語る



六人の講中で出かけたものだ。香川で泊まる宿もきまっていた。こまやの下の宿屋だった。そこへ行くのに当時馬車で一円六十銭かかった。

現在私たちの住んでいる香川は日進月歩の勢いで発展の一路をたどっており、数年の間に大きく変遷した。そこで今のうちに昔の面影を知っていらっしゃる方に当時の話を伺って記録しておくのも意義あることと考え、最長老の亀井勇次郎氏(八十九才)を二月十一日に訪問して、新旧談を語っていただいた。

「何か話してよいかわからな」といながらも、当時を懐かしそうに追憶しながら快く記者の質問に応じてくれた。以下はその大要である。

明治三十年の戸数は、原一六、殿内一四、堂庭二四、北一三で計六八戸だった。昭和二十一年頃は二百戸だった。それが現在は千三百戸になったんだから、ずいぶんふえたもんだ。

大山は山頂にある阿夫利神社に参拝するために、大山へ通じる道が東西南北にできた。祭神の石尊大権現が勝負の守護神と誤られて、原因で、講をしたって参詣し、江戸中期から盛になった。香川でも大山講を結成して、十月には五ノ

どがあつた。今残っているものもある。名前だけ残っているものもある。道祖神は四か所あり、殿内(熊沢安平氏横)、原町(亀井千代春氏前)、北町(坪田キン氏前)、堂庭(熊沢武光氏前)だ。他の市営住宅の上には馬頭観音があつた。七面山は一時は盛大で、隆亨上人の時代は、五里四方まで広く崇敬者を集め、多くの人から信仰された。片瀬の滝口寺に常夜燈を建てたりした。山王山では、部落の人全員こお餅を一個ずつくれた。

松林地区六か村で建てた学校で現在の高田のお宮の前に二階建てのものがあつた。香川から行った者はみな成績もよかつた。分教場担任の白峯寺の坊さんはスパルタ教育を認めた。当時は体罰をどんどんやられたので、勉強ができた。またバケツに水を入れておいた。新倉直吉氏は先生が「お前は帰さない」というと真暗になつても帰らなかつた。高田のお宮の脇の浅岡精米所の傍に銀治屋があり金くそを集めておいてけんかをした。新倉純太郎君が大将で五月十三日に香川と五村の者と大げんかをした。香川が勝つた。よくけんかをした。香川が勝つた。よくけんかをした。香川が勝つた。よくけんかをした。

香川の畑は一面桑畑だった。明治三十四、五年から末年までは香川は養蚕が盛で、閑院宮様から表彰され、江の島で御馳走になつた。養蚕組合長として活躍された功績のあった人は、坂下(亀井精一氏宅)、大西(熊沢余次氏宅)や古西(新倉健太郎氏宅)や新屋(熊沢丹司氏宅)だ。(新屋は、新屋何しろ一反十坪の時代で、桑畑二反三畝が二十五円だった。農地改革の時に一反三百六十円だった。

商店はあつたのですか？日用品などどこで買ったのですか？堂庭の道祖神のあたりに、琴店といふのがあつて、簞、傘、マツチ、ろうそくなど、雑貨や食料品、どぶろくなど何でも売っていた。この一軒で何不自由なく生活できた。どぶろくなど一杯五銭でみんな毎日飲みに来た。高田、大曲、寺尾、岡田など、近在の人までが買いに来て、ずいぶん繁昌したものだ。新倉岩次郎という人がやしんじも一町位あつたけれど、その他、故新倉政一氏の家は醬油屋といつて醬油を作っていた。

三、四人の女中や下男を使って盛大に醸造していた。古谷鉄男氏の家も下駄屋という家号があるように、鉄男氏のおじいさんの代まで下駄屋をしていた。油屋(阿諏訪イイ氏宅)もそうだが、おじいさんの代まで家号に残つておいた。新屋(熊沢氏宅)でもおじいさんが酒を作つておられた。そこへ中井でこられて、お酒の作り方を覚えて酒作りを始めた。現在の熊沢茂吉氏より二代前の熊沢茂平さんの時から醸造を始められた。現在のようになつたのだ。

問)昔は戸数はどの位だったのですか？

問)お宮は諏訪神社だけでしたか？

問)相模川の用水は、おじいさんが骨を折られたそうですが？

問)当時の有名な人はどんな方ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)商店はあつたのですか？

問)当時の有名な人はどんな方ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

問)生涯で一番嬉しかったことは何ですか？

初句会即吟抄

茅花会

和やかな初句会

一月十七日(日)一時から柳田喜代次氏宅で茅花会の初句会が行なわれた。長いこと入院していた亀井湘南氏も久しぶりに元氣な姿をみせた。男女十七人、句詠の後は各自お得意の芸を披露しあつて、終始和やかに楽しい一日をすごした。なお茅花会では同好者がふえることを望んでいます。

親しさのなほ深めて初句会老いの顔しわが笑いて初句会初句会もう沈丁花赤らみて和やかに老若まじり初句会瑞兆の野に満つ日和初句会明るさをグラスにうつし初句会夫と子に厨あずけて初句会初句会風の出たらしく初句会笑われるほめて面白初句会ほろ酔いの和める座なり初句会はからずも男女同数初句会風流の顔も揃えて初句会何を詠む良き日この春初句会初句会眼鏡の奥の目が笑ふ幼児連れ主婦もまじりて初句会和やかに話はずむ初句会

文学散歩

平塚の巻(3)

「更級日記」と唐ヶ原

伊東信子

杏雲堂前から更に南に数百メートル進むと、湘南遊歩道に達する。ここを右折して西に進むと花水川に達する。この河畔一帯の地を、古くから唐が原と呼んだ。平安時代の女流日記として特色のある菅原孝標の女が書いた「更級日記」に、このあたりの情景が次のように記されている。

「片づ方は海浜のさまも寄せかへる浪のけしきもいみじうおもしろし。もろこしが原という処も、砂子のいみじう白きを二三日行く。夏はやまと撫子の濃くうすく錦をしけるやうになむ咲きたる。これは秋の末なれば見えぬ」というに、なほ処々はうちこぼれつつ、あはれけに咲きわたれり。「もろこしが原にやまと撫子も咲きけむこそ」など人々をかしがる。名にしおはば虎や伏すらむ東路にありといふなる唐土ヶ原

堀川百首 藤原忠房
まどろまむ夜中しはし鳥羽玉の夢路ぞ近きもろこしが原
歌枕名寄 鴨 長明
から大和色々に織る錦かな撫子咲ける諸越の原
遙かなる中こそうけれ夢ならぬ遠く見にけり唐ヶ原
懐中抄 読人しらす

作者菅原孝標の女は、平安朝一条帝の寛弘五年(九五五年)京都に生まれ、寛仁元年正月十才の時、父の任地上総に下り、十三才の時に父の任期が満ちて家族と共に京都に上った。幼少時代から物語を耽読した程の文学女性なればこそ「唐が原に大和撫子も咲きけむこそ」など人々をかしがるとの話題に興味を持ち、日記にも認められたもの、そぞろにわきくる懐旧の情とともに、そのかみの旅路の風物が偲ばれるのである。大東亜戦争初期の頃までは、優雅な大和撫子の群落がみられ、可憐な花が一面に咲きほこってひとしおの風情があったが、戦時中に高射砲陣地が構築され、あたりに古典の語り草も、心なき軍靴の下に踏みじり草も、今はただ花水川の西岸大磯寄りに、唐が原の字名を残すのみとなった。

平塚名物の七夕祭の時にうたう「平塚音頭」の中に詠みこまれ、また銘菓に名づけられ、「更級日記」の撫子の花は、今も郷土人士の心を慰めてくれているのである。.....

「番町皿屋敷」お菊の墓

平塚駅北口から梅屋デパート前の紅谷町通りを、西の方へ徒歩約五分、新宿江谷町児童公園の中に岡本綺堂の世話物の代表作とされる「番町皿屋敷」の悲劇の主人公であり、江戸時代歌舞伎「皿屋敷化粧姿」の主人公お菊の墓がある。.....

現在江谷町内有志の手で築かれたお菊塚の周辺が、児童公園となっていて、小春日和の日など付近の幼児たちが三々五々無心に遊んでいるが、時には老婆が香花を手向けて供養する姿をみかけるのも哀れである。

太田道灌の歌碑

紅谷町から東海道へ出て、西に約百メートルゆくと、市民センターがある。この中庭に.....

道灌は鎌倉、扇が谷上杉定正の家臣で、名前を持資といひ、二十才で江戸築城を完成し、ついで河越、岩槻の二城を築いた文武の達人で、特に和歌に秀でて、三十三才の時に京都に上って後土御門天皇にお目にかかり、和歌をもつて勅問に奏答したと伝えられる。.....

平塚見付台跡の市民センターから東海道を西に約半キロメートル(市内バス豊田停留所下車徒歩三分)行ったところの要法寺境内に平塚の塚と碑がある。.....

加賀見山 お初の墓

平塚市本宿要法寺の西隣り、旧広蔵寺墓地にある。荻野山中藩主大久保教寛の江戸屋敷に仕えた平塚の人、松田たつ女の墓である。.....

平塚市本宿柳町の国道筋から北に約五百メートル入った所に、上平塚の鎮守八雲神社がある。.....

川田順の歌碑
平塚市本宿柳町の国道筋から北に約五百メートル入った所に、上平塚の鎮守八雲神社がある。.....

茅花会 二月投句集

里なれや折にふれての草の餅針供養いつしか母と呼はるわれ前耕地白鷺ありく風物語
野火困む辻の露坐仏泰然と
沈丁花手折るに惜しき小枝かな芝焼いて富嶽の雪と対しおり
売れし田にわびしき鷺の二つ三つ浪音の遙けき遠田鷺の立つ
行商や小貝につめしひび薬友訪へば沈丁の香の狭き庭
鶯一羽凍て田の中に餌をあさる
山焼きの火の行くところ風生まる
庚申塔なめて野焼きのなほ進む鷺のたつ水田詩となり歌となる
ひなびてもなお香りあり沈丁花
陽の恵み答えて香る沈丁花
家並び野火の火影もせばまれて
廣野焼く火焔夕陽を焼き尽くす
残照の冬田白鷺翔けるのみ
白鷺のただ一羽立ち冬の雨
公害のほひも消して沈丁花
香に酔ふてたたずむ庭の沈丁花
山焼きや火伏に祈る守り神
沈丁花紅らみ初め病よし
まのあたり鷺舞う村に十歳住む
我の他通る人なし焼野焼く
子等の夢土手に集る野焼かな
石段を下りて野焼の古き寺
沈丁花聞くだに嬉し春を待つ
木村夢峰
喬木か竹か鷺山遙かなる
枯れた庭ただ一本の沈丁花
山焼は村を挙げての行事かな
集金の足止めけり沈丁花
沈丁花匂う門口ベルを押す
野火ゆらぐ残りに刻む遠き日よ
白鷺の静かに舞うや里の冬
はらからか夫婦か鷺のむつまじく
静かさの限りを山焼く男たち
松笠のおちる季節や鷺の来る

馬入渡りて平塚の女郎衆は大磯小磯の客をとめ
小田原相談長くなる。
コチャエ コチャエ
コチャエ
加賀見山 お初の墓
平塚市本宿要法寺の西隣り、旧広蔵寺墓地にある。荻野山中藩主大久保教寛の江戸屋敷に仕えた平塚の人、松田たつ女の墓である。.....

平塚市本宿柳町の国道筋から北に約五百メートル入った所に、上平塚の鎮守八雲神社がある。.....